



# 近つ飛鳥

令和7(2025)年2月26日  
学校だより3月号  
河南町立近つ飛鳥小学校

## 心が通じ合ったお別れ会

校長 鍵谷 直毅

寒い日が続いていましたがようやく春の兆しを感じることができるようになり、本格的な春が一步一步近づいてきています。春の訪れとともに令和6年度も残すところひと月余りとなり、締めくくりの時期となりました。子どもたちには、1年間を振り返り、まとめをしっかりと、いい形で次年度を迎えることができるようにしてほしいと思います。

さて、2月21日(金)に、6年生とのお別れ会を実施しました。前半は、縦割り班に分かれて6年生と下級生がクイズやゲームなどで交流しながら楽しい時間を過ごし、後半はこれまでお世話になった6年生に感謝の気持ちやそれぞれの思いを込めて、学年ごとに6年生へメッセージを送りました。どの学年の児童もしっかり声を出して6年生へ一生懸命にメッセージを伝えていて、その様子を温かく見守る6年生、いつものように後輩たちを優しく思いやる姿が印象的でした。続いて、後輩たちが「believe」の合唱をした後、6年生から後輩たちに心のこもったメッセージが返されました。6年生の言葉を一言一言噛みしめていくうちに子どもたちの心が通じ合い、気持ちが一つになっていく様子を見てると感慨深いものがありました。涙ぐむ児童もたくさんいて、近つ飛鳥小らしい心温まる感動のお別れ会となりました。6年生が体育館から退場した後、1年生から5年生がお別れ会の感想を発表する時間を持ちましたが、5年生の中には、力強く「次は自分たちが近つ飛鳥小を引っ張って行く」と発言してくれた児童もあり、5年生が中心となって6年生からしっかりバトンを受け継ごうとする気持ちに、頼もしさや成長を感じさせてくれる場面もありました。卒業式まで、ひと月を切りましたが、特に6年生には残りの小学校生活を一日一日大切に悔いのないように過ごし、6年間の思いを胸に仲間とともに、立派な姿で近つ飛鳥小学校を巣立ってほしいと思います。